

報道関係者 各位

2014年7月31日
国立大学法人 東京農工大学

東京農工大学科学博物館 企画展 「福島農業復興支援バイオ肥料プロジェクト」

東京農工大学（学長：松永 是 本部：東京都府中市）では、科学博物館において、企画展「東京農工大学福島農業復興支援バイオ肥料プロジェクト」を開催します。

東京農工大学は、農学部と工学部の2学部からなる大学で、農業、工業、及びその融合領域の研究で地球と地球上で生活する人類、動植物の課題に取り組み、社会を発展させる技術の開発に日々貢献しています。大学では、平成24年度から文部科学省特別経費を受け、教員、学生等が参加し、福島県二本松市東和地区等を拠点として福島農業復興支援研究を行っていますが、このたび、福島農業復興に取り組む様子をパネル、映像、実験器具などの展示を通して広くご紹介する企画展を開催することとなりましたのでお知らせします。

◆概要◆

【開催期間】平成26年8月5日（火）～9月27日（土）（入館は16:00まで）

休館日：日曜日・月曜日・祝日は休館日となります。

※8月7日（木）・8月13日（水）～8月15日（金）は夏季休館日になります。

【会場】東京農工大学小金井キャンパス 科学博物館

（地図参照 住所：東京都小金井市中町2-24-16 最寄駅：JR中央線東小金井駅）

【入館料】無料

【主催】東京農工大学 科学博物館

東京農工大学 農学部、福島農業復興支援バイオ肥料プロジェクトチーム

【イベント】9月11日（木）13:00～

日本土壌肥料学会東京大会 市民公開シンポジウム

「福島県二本松市 NPO 法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会の

放射性Cs汚染からの農業復興に関する取り組みと農工大の支援活動報告」



◆本件に関する問い合わせ◆

東京農工大学科学博物館
TEL：042-388-7163



福島の農業に寄り添う研究を目指して。



国立大学法人東京農工大学科学博物館企画展

東京農工大学福島農業復興支援バイオ肥料プロジェクト

～農工大の学生や教員が福島県二本松市東和地区の農家の皆さんとタッグを組んだ農業復興支援研究をご覧下さい～

期間 2014年8月5日(火)～9月27日(土)

会場 東京農工大学科学博物館企画展示室

10:00～17:00(入館は16:00まで) 【休館日】日曜・月曜・祝日 【夏季休館日】8月7日(木)8月13日(水)～15日(金) 【入館料】無料 ※会場は工学部(小金井市)です

主催：国立大学法人東京農工大学科学博物館
国立大学法人東京農工大学 農学部
福島農業復興支援バイオ肥料プロジェクトチーム

協力：NPO法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会
(大野達弘、武藤一夫、佐藤佐市、武藤正敏、熊谷耕一、大槻千春、海老沢誠ほか)
後援：一般財団法人東京農工大学教育研究振興財団

本企画展は文部科学省特別経費「プロジェクト分」 大学固有の生物資源を用いた放射線元素除去技術、バイオ肥料・植物保護技術開発の研究成果を一般財団法人東京農工大学教育研究振興財団教育研究援助助事業助成金により公開するものである。

東京農工大学は平成24年度から文部科学省特別経費を受け、教員・学生等が全学規模で参加し、福島県二本松市東和地区等を拠点に福島農業復興支援研究を行っています。さらに、地元農家の協力、研究機関との連携によって本研究は支えられています。東京農工大学の研究資源を生かし、福島農業復興に取り組む様子をパネルや映像、実験器具などを展示してご紹介します。



日本土壌肥料学会東京大会 市民公開シンポジウム

福島県二本松市NPO法人「ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会」の放射性Cs汚染からの農業復興に関する取り組みと農工大の支援活動報告

9月11日(木) 13:00～

場所：東京農工大学 工学部 講義棟2F L0026 教室
問い合わせ：東京農工大学農学部 植物栄養学研究室 横山 正
TEL: 042-367-5878 E-mail: tadashiy@cc.tuat.ac.jp

お問合せ

国立大学法人東京農工大学科学博物館
TEL:042-388-7163
東京都小金井市中町2-24-16
E-mail:kahaku@cc.tuat.ac.jp
http://www.tuat.ac.jp/~museum/



日本土壌肥料学会東京大会 市民公開シンポジウム

福島県二本松市 NPO 法人「ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会」の放射性 Cs 汚染からの農業復興に関する取り組みと農工大の支援活動報告

日時 2014年9月11日(木)13時より

会場 国立大学法人東京農工大学 工学部 講義棟2F L0026 教室

内容 福島県二本松市東和地区での東京農工大学福島農業復興支援バイオ肥料プロジェクトの2年半の活動と現地農業者団体による原子力発電所事故への対応活動の報告および、今後の活動の方向性を探る

【座長団】 東京農工大学 農学研究院 生物生産科学部門 横山 正
東京農工大学 農学研究院 生物生産科学部門 鈴木創三
東京農工大学 農学研究院 生物システム科学部門 豊田剛己
東京農工大学 農学研究院 国際環境農学部門 木村園子ドロテア
福島県農業総合センター 生産環境部 環境・作物栄養科 齋藤 隆

| | |
|-----------------|---|
| ① 13時00分～13時10分 | 荻原勲農学府長の挨拶 |
| ② 13時10分～13時20分 | 趣旨説明 東京農工大学 農学研究院 生物生産科学部門 横山 正 |
| ③ 13時20分～13時45分 | NPO法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会の放射能との闘いの取り組み NPO法人 ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会 前理事長 大野達弘 (原子力事故から現在までの、NPO法人の放射性Cs汚染に対する農業復興の取り組み活動の時系列を追っての紹介、及び今後どうするか、何をすれば良いか等の報告) |
| ④ 13時45分～14時10分 | 二本松市の森林における放射性Csの動態と流出抑制法の研究 東京農工大 農学研究院 自然環境保全学部門 戸田浩人 (口太山等のモニタリング、森林での放射性Cs循環、除染および流出抑制法の試み等) |
| ⑤ 14時10分～14時35分 | 二本松市の森林-溪流生態系の放射性物質移動と生物濃縮の評価 東京農工大 農学研究院 国際環境農学部門 五味高志 (口太山等から溪流を通しての放射性Csの動態と、それに関与する生物への放射性Csの生物濃縮の評価) |
| ⑥ 14時35分～15時00分 | 二本松市周辺での野生動物を通しての放射性Cs循環の把握 東京農工大 農学研究院 物質循環環境科学部門 渡邊 泉 (二本松市東和地区で採取した各種大動物や、羽山のネズミ等を通した放射性Csの動き等) |
| ⑦ 15時00分～15時10分 | 休憩 |
| ⑧ 15時10分～15時35分 | 二本松市における耐環境ストレス微小寄生蜂の動態 東京農工大 農学研究院 生物制御科学部門 岩淵喜久男 (環境ストレスで出現するキンウワバトビコバチの兵隊幼虫数の二本松市と他地域との出現数の違い等の紹介) |
| ⑨ 15時35分～16時00分 | 二本松市での放射性Csに対して安全・安心な作物栽培のための試み 東京農工大学 農学研究院 生物生産科学部門 横山 正 (二本松市での植物-微生物や栽培体系による畑からの除染法の適応研究、イネ・ダイズ・アズキ・漬け菜類のCsを吸わない作物系統の探索の紹介) |
| ⑩ 16時00分～16時25分 | 放射性Cs汚染からの産地再生への課題(社会科学的な視点から) 東京農工大学 農学研究院 共生持続社会学部門 千年 篤 (福島県の産地再生、ブランド再生の可能性に関する調査結果と所見) |
| ⑪ 16時25分～17時15分 | 今後取り組むべき課題(総合討論) 福島県農業総合センター 生産環境部 環境・作物栄養科 齋藤 隆 東京農工大 農学研究院 国際環境農学部門 木村園子ドロテア (上記2名による福島農業復興への今後の課題に関する所見及び、全体討論) |
| ⑫ 17時15分 | 有江力評議員による閉会の挨拶 |